

生野区介護家族ゆとりの会講演

「母が認知症になったー認知症との共生を哲学する」 金泰明先生

5月30日金18:30～

生野区民センター201

「講演内容」介護施設で暮らした認知症の母が生きた世界から話を始めよう。認知症の問題は、「存在的マイノリティ」の対立と共生の問題、すなわち、不安で孤独な「いま、ここ」を生きる認知症の人をケアし共に生きる営みである。認知症との共生の問題は、認知症の人びとが「人間として／人間らしく」生きる人間の条件を考えることである。認知症の人の「声」に耳を澄まし、「生きる世界」に触れ、反省し語り合いたい。認知症を哲学することは、〈私〉のよりよい生き方や幸福、またより善い社会を作ることにつながると思う。



ゼウスさんと息子さんは
イトコどうし

【講師プロフィール】

現在、立命館大コリア研究センター客員研究員、元大阪経済法科大学法学部教授。国際学博士。大阪生まれの在日韓国人二世。人権 NGO を立ちあげ 20 年間、専従スタッフとして活動。人権と共生の哲学研究会の活動をつづけながら、東京国立で「より善く生きるための哲学の学校」を開いている。

生野区介護家族ゆとりの会 水野 09068214137